

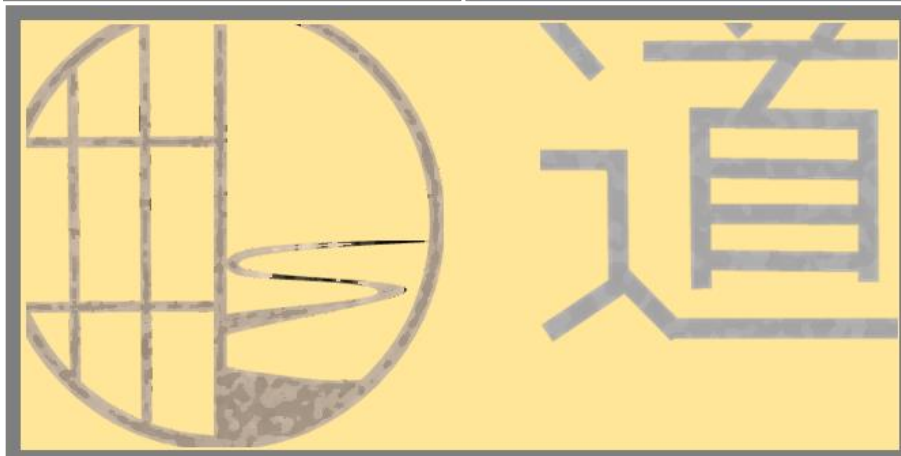
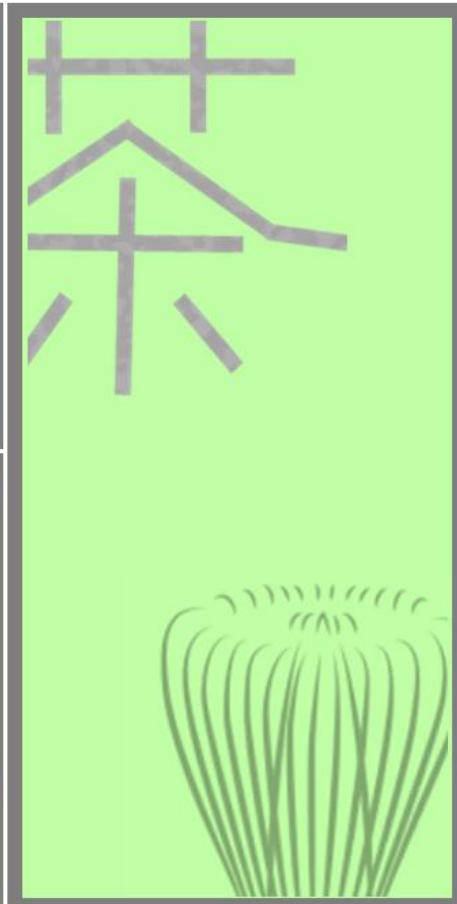
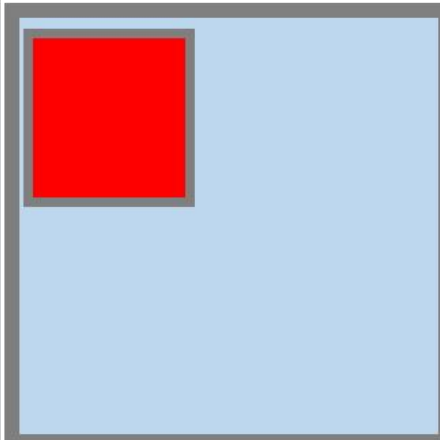
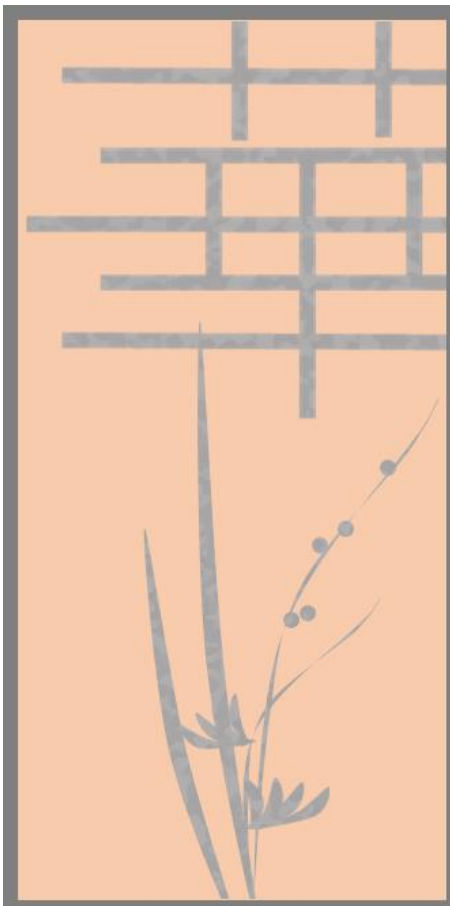
# 日本の伝統文化継承に向けて

～茶華道指導・学習資料～

## 日本の伝統文化継承とは

日本には、古くから受け継がれている茶道、華道、和装、囲碁、将棋などの伝統文化等があります。

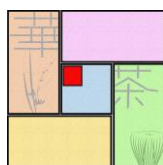
次代を担う子供たちに対して、これらの伝統文化等を体験できる機会を提供することは、伝統文化等を継承・発展させるとともに、子供たちの豊かな人間性の涵養につながります。



令和6年3月  
福岡県教育委員会義務教育課

# 目次

◆ 今、なぜ「日本の伝統文化継承」なのか	.....1
◆ 伝統や文化に関する教育と関係法令等①	
◆ 伝統や文化に関する教育と関係法令等②	.....2
◆ 伝統や文化に関する教育と関係法令等③	.....3
◆ 目標	
◆ 推進のための基本的な視点	.....4
1 組織的かつ系統的に取り組む	
◆ 推進のための基本的な視点	.....5
2 各教科等との関連を図った指導を行う(道徳科の時間を要として)	
◆ 推進のための基本的な視点	.....6
3 茶華道と教育	
◆ 実践事例1	
【茶道・直方市立直方南小学校 第6学年 総合的な学習の時間】	
◆ 実践事例2	.....7
【茶華道・桂川町立桂川東小学校 第6学年 社会科】	
◆ 実践事例3	
【茶華道・小郡市立立石中学校 第1学年 総合的な学習の時間】	
◆ 実践事例4	.....8
【茶道・粕屋町立粕屋中学校 茶道部】	
◆ コラム「華道の魅力について」	.....9
◆ 推進に関わるQ&A	.....10



## 今、なぜ「日本の伝統文化継承」なのか

急激に変化する時代の中で、我が国の学校教育には、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成することが求められています。そうした資質・能力の育成において「日本の伝統文化継承」の学習により、我が国の伝統と文化に対する関心や理解を深め、それを尊重し、継承・発展させる態度を育成するとともに、それらを育んできた我が国への親しみや愛着の情を深め、他国と日本の関わりについて考え、日本人としての自覚をもって、新しい文化の創造と社会の発展に貢献し得る能力を育むことが大切です。



茶華道指導イメージキャラクター  
和菓子の妖精 「さかちゃん」

## 伝統や文化に関する教育と関係法令等 ①

伝統や文化に関する教育の重要性については、法令等においても次のように示されています。

### 教育基本法

#### 前文

我々日本国民は、たゆまぬ努力によって築いてきた民主的で文化的な国家を更に発展させるとともに、世界の平和と人類の福祉の向上に貢献することを願うものである。

我々は、この理想を実現するため、個人の尊厳を重んじ、真理と正義を希求し、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成を期するとともに、伝統を継承し、新しい文化の創造を目指す教育を推進する。

ここに、我々は、日本国憲法の精神にのっとり、我が国の未来を切り拓く教育の基本を確立し、その振興を図るため、この法律を制定する。

また、第1条の「教育の目的」を実現するための、今日重要と考えられる事柄を五つに整理して、第2条「教育の目標」に、伝統と文化を尊重する態度を養うことについて、第5号に以下のように示されています。

**五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。**

### 学校教育法

教育基本法の教育理念を踏まえ、伝統と文化を尊重することについて、第21条の第3号に以下のように示されています。

**三 我が国と郷土の現状と歴史について、正しい理解に導き、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うとともに、進んで外国の文化の理解を通じて、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。**

道徳科

- ・主として集団や社会との関わりに関すること[伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度]我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつこと。

道

国語科

- ・昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむこと。
- ・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くこと。
- ・易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。
- ・長い間使われてきたことわざや慣用語、故事成語などの意味を知り、使うこと。
- ・親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。
- ・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ること。

国

社会科

[県内の伝統や文化、先人の働きについて]

- ・県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解すること。
- ・歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現すること。

[県内の特色ある地域の様子について]

- ・県内の特色ある地域が大まかに分かるようにするとともに、伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域、国際交流に取り組んでいる地域及び地域の資源を保護・活用している地域を取り上げること。その際、地域の資源を保護・活用している地域については、自然環境、伝統的な文化のいずれかを選択して取り上げること。

[我が国の歴史上の主な事象について]

- ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。

社



図画工作科

- ・親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めること。

図

音楽科

- ・歌唱教材については、我が国や郷土の音楽に愛着がもてるよう、共通教材のほか、長い間親しまれてきた唱歌、それぞれの地方に伝承されているわらべうたや民謡など日本のうたを含めて取り上げるようにすること。
- ・打楽器は、木琴、鉄琴、和楽器、諸外国に伝わる様々な楽器を含めて、演奏の効果、児童や学校の実態を考慮して選択すること。

音

家庭科

- ・伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方を理解し、適切にできること。(和食の基本となる だしの役割についても触れること。)

家

外国語活動、外国語科

- ・外国語や外国の文化のみならず、国語や我が国の文化についても併せて理解を深めるようにすること。言語活動で扱う題材についても、我が国の文化や、英語の背景にある文化に対する関心を高め、理解を深めようとする態度を養うのに役立つものとする。
- ・英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然などに関するものの中から、児童の発達の段階や興味・関心に即して適切な題材を変化をもたせて取り上げること。

外

総合的な学習の時間

- ・目標を実現するにふさわしい探究課題については、学校の実態に応じて、例えば、国際理解、情報、環境、福祉・健康などの現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題、地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題、児童の興味・関心に基づく課題などを踏まえて設定すること。

総

道徳科

- ・主として集団や社会との関わりに関すること[伝統文化の尊重、国や郷土を愛する態度]郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。

道

国語科

- ・音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむこと。
- ・古典には様々な種類の作品があることを知ること。
- ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむこと。
- ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ること。
- ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむこと。
- ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うこと。

国

社会科

- ・地域の考察に当たっては、そこに暮らす人々の生活・文化、地域の伝統や歴史的な背景、地域の持続可能な社会づくりを踏まえた視点に留意すること。
- ・自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、具体的な事柄との関わりの中で、地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けること。

社

音楽科

- ・我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性。
- ・民謡、長唄などの我が国の伝統的な歌唱のうち、生徒や学校、地域の実態を考慮して、伝統的な声や歌い方の特徴を感じ取れるもの。なお、これらを取り扱う際は、その表現活動を通して、生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わい、愛着をもつことができるよう工夫すること。

音



美術科

- ・日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気づき、美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。
- ・鑑賞の題材については、国内外の児童生徒の作品、我が国を含むアジアの文化遺産についても取り上げるとともに、美術館や博物館等と連携を図ったり、それらの施設や文化財などを積極的に活用したりするようにすること。

美

技術・家庭科(技術分野)

- ・我が国の伝統的な技術についても扱い、緻密なものづくりの技などが我が国の伝統や文化を支えてきたことに気付かせること。

技

技術・家庭科(家庭分野)

- ・地域の食文化について理解し、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできること。
- ・だしを用いた煮物又は汁物を取り上げること。また、地域の伝統的な行事食や郷土料理を扱うこともできること。

家

保健体育科

- ・武道については、柔道、剣道、相撲、空手道、なぎなた、弓道、合気道、少林寺拳法、銃剣道などを通して、我が国固有の伝統と文化により一層触れることができるようにすること。

保体

外国語科

- ・英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などに関するものの中から、生徒の発達の段階や興味・関心に即して適切な題材を効果的に取り上げるものとし、次の観点に配慮すること。  
(イ)我が国の文化や、英語の背景にある文化に対する関心を高め、理解を深めようとする態度を養うのに役立つこと。

外

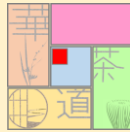
特別活動

- ・平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようにすること。

特

### 目 標

日本の伝統文化への深い理解と尊重する心により、  
変化する時代の中で豊かに生き抜く子供を育成します



### 目指す子供像

- ① 我が国の伝統と文化に対する関心や理解を深め、それを尊重し、継承・発展させる子供
- ② 自国の伝統や文化を世界に向け発信できる資質・能力をもった子供
- ③ 新しい文化の創造と社会の発展に貢献しようとする子供

## 推進のための基本的な視点

### 1 組織的かつ系統的に取り組む

日本の伝統文化継承教育は、全ての教職員による組織的な取組や児童生徒の発達段階に即した系統的な学習により、義務教育課程全体を通して意図的・計画的に行われる必要があります。

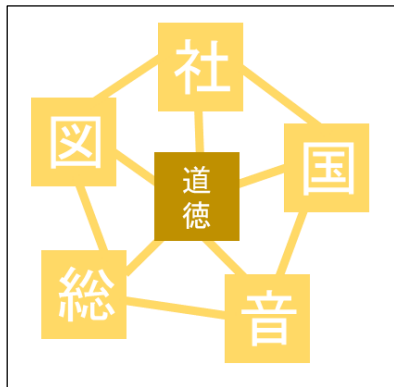
① 校内研修等を通して、全教職員が日本の伝統・文化継承教育の意義やねらいについて理解を深めましょう。

② 小中で連携し、各学校の特色及び発達段階に応じた全体計画を作成しましょう。その際、各教育活動がどのような役割を分担するのか、また、家庭や地域社会との連携をどのように図るか等について総合的に示し、実施しましょう。



## 2 各教科等との関連を図った指導を行う（道徳科の時間を要として）

学校行事や各教科等における単発的な学習では、日本の伝統文化への深い理解や尊重する態度の育成は困難です。これまで各校、各教科等で行ってきた伝統文化に関わる指導内容を見直したり、関連を確認したりして、教科等横断的に指導を行うことができるカリキュラム・マネジメントを行いましょ。その際、目標や目指す子供像を鑑みれば、道徳科の時間を要として指導内容の見直しや関連の確認を行うことが効果的であると考えます【資料1】。以下に、道徳科の内容項目「C 主として集団や社会の関わりに関すること」に示される「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」の内容における学年段階・学校段階の一覧【資料2】を示します。学習の系統性をイメージする際の参考にしましょ。



【資料1】教科横断的な指導のイメージ

各教科等で学習した内容を道徳科の授業で補ったり、深めたり、相互の関連を考えて発展させたり統合させたりしましょ。

学年段階・学校段階に応じた学習内容を検討し、系統的な学習や小中連携によって、日本の伝統文化への深い理解や尊重する態度の育成を図りましょ。



	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	
小学校第1学年及び第2学年	我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつこと。	
小学校第3学年及び第4学年	我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつこと。	
小学校第5学年及び第6学年	我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつこと。	
中学校	郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。	優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに、日本人としての自覚をもって国を愛し、国家及び社会の形成者として、その発展に努めること。

【資料2】道徳科「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」の内容における学年段階・学校段階

## 3 茶華道と教育

日本の伝統文化への深い理解と尊重のためには、児童生徒が伝統文化や歴史を学ぶことに加え、それらが、今を生きる自分自身にとっていかに意味あるものであるのかということを実感的に学ぶ機会が必要です。福岡県内では、茶華道の体験学習を教育課程に位置付けている学校が多くあります。なぜ、茶華道なのでしょうか・・・。

茶道や華道における「道」とは、単なる分野や領域といった意味ではなく、「求道」という言葉にみられるような精神的な高みを目指す過程を意味しています。また、茶道と学校教育の結びつきの歴史を見てみると、明治初期に、学校の教育カリキュラムの一部として「点茶」を取り入れ、茶道を通じて礼法を教育しようとしたことがうかがえます。これらのことから、茶道や華道に取り組む過程に教育効果が見いだされたのだと推察されます。

また、令和3年1月の中央教育審議会答申『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」において、日本型学校教育の成り立ちと成果を以下のように述べています。

「学校が学習指導のみならず、生徒指導等の面でも主要な役割を担い、様々な場面を通じて、子供たちの状況を総合的に把握して教師が指導を行うことで、子供たちの知・徳・体を一体で育む「日本型学校教育」は、全ての子供たちに一定水準の教育を保障する平等性の面、全人教育という面などについて諸外国から高く評価されている。」

こうした高い評価を受ける教育の一端を担っているのが、茶道や華道を含む日本の伝統文化継承教育です。令和の日本型学校教育は、必要な改革を躊躇なく進め、従来の日本型教育を発展させていくことで実現されます。伝統文化継承教育についても、これまでの実践の成果を活かしつつ、発展させていくことが求められます。



以下に紹介する県内の小中学校の茶華道の実践を参考に、各校の創意工夫により、令和の伝統文化継承教育の在り方を探っていきましょう。

県内四つの小中学校に行って活動の様子を見せていただいたり、お話を伺ったりしました！その内容を紹介します！





## 実践事例1【茶道・直方市立直方南小学校 第6学年 総合的な学習の時間】



直方市では、毎年、市内の小学6年生を対象に、総合的な学習の時間において「子ども焼き物教室」が開催され、「古高取を伝える会」の方を講師に招き、「世界に一つのMY茶碗づくり」の体験活動が行われています。さらに、焼きあがった自作の茶碗を使った茶道体験も行われており、郷土への親しみを深める学習が展開されています。大名茶碗として全国的にも有名な高取焼の茶碗を自作し、それを使う喜びは、先人の技や努力を知る機会となり、郷土を愛する心をもつことにつながります。「古高取を伝える会」は、活動の柱の一つに「次世代につなげる」を掲げていらっしゃいます。熱心に茶碗づくりに取り組む児童の姿は、伝統文化を大切にし、継承していく態度そのものであると感じられました。



MY茶碗による茶道体験で、伝統文化がより身近なものに感じられるでしょうね。



## 実践事例2【茶華道・桂川町立桂川東小学校 第6学年 社会科】

桂川町内の小学校では、6年生社会科、室町時代の文化の学習において、茶道や華道、籐かご作りの体験学習を行っています。茶の湯や生け花などの室町時代の文化が、現代においても楽しまれている要因を探る体験学習は、歴史や伝統を大切にする心情やそれらを継承していく態度の育成にもつながっているようです。こうした学習が10年以上続いている背景には、「桂川町学校支援ボランティア」や「桂川町社会資源マップ」といった児童の多様な学びを支援する桂川町教育委員会のサポートがあります。



他の市町村教育委員会にも、類似した人材資源マップ等があるのではないのでしょうか。それらの活用状況を見直してみることも大切ですね。



### 実践事例3【茶華道・小郡市立立石中学校 第1学年 総合的な学習の時間】

小郡市立立石小学校・中学校では、総合的な学習の時間に「地域の自然や歴史、行事や取組に触れ、取組を受け継ぐ人々の考えや思いに気づくとともに、地域の財産や課題について興味・関心を持ち、地域の文化継承や地域活性化に対して自分の考えをもつことができる。」というねらいの下、系統的な学習が展開されています。

小学校段階における町探検や自然や文化に触れる体験活動を基盤に、中学校1年次に伝統文化体験学習(生け花・水墨画・茶道)が実施され、伝統文化のすばらしさや継承することの大切さを実感的に学んでいます。



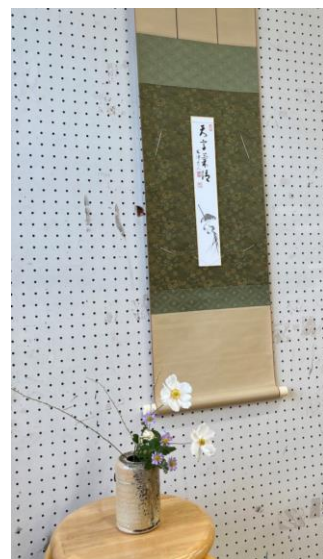
全ての体験学習で、地域の方がゲストティーチャーとして活躍されています。伝統文化継承学習は、地域と学校の深い関わりを促進するよい機会となりますね。

### 実践事例4【茶道・粕屋町立粕屋中学校 茶道部】

粕屋町立粕屋中学校茶道部は、週二回、放課後に活動しています。外部講師の先生は、元中学校教諭の方で、週一回のペースで指導にあたられています。学級数増加に伴い、活動場所であった和室は、教室として使用されているため、調理室が主な活動場所です。限られたスペースですが、外部講師の先生が生けられた花と掛け軸や立礼式の道具等が茶道を楽しむ空間を演出しています。

生徒からは、「心の落ち着きや安らぎを得ている。」「日々の授業等で姿勢を整える習慣がついた。」などといった感想が聞かれました。

毎年秋に開催される糟屋区中学校文化連盟発表会では、来場者を対象にお茶を振る舞い、日頃の練習の成果を発揮します。



なんだか心が落ち着きますね。  
伝統文化を学ぶことは豊かな心の醸成にもつながりますね。



西日本華道連盟理事長や福岡文化連盟理事として御活躍の草月流一星会会長 片山 健 先生に華道の魅力についてお話を伺いました。



華道との出会いについて教えてください

中学生の頃から自宅で自由に花をいけていたことが出会いだと思います。20歳のときに叔母の薦めで草月流家元勅使河原蒼風のアトリエに入門しました。その後10年ほどして福岡に戻り、教室を開きました。



華道のよさをどのように広められていますか

華道は世界の人々に日本の伝統文化として尊ばれています。現在、国内外でデモンストレーションやワークショップなどを行い、色々な方に逢うことができ、いけばなを通して交流の輪を広げています。また、街の中の様々な場にいけばな制作展示をして多くの方に癒しの空間を提供しています。



子供たちに伝えたい華道の魅力は何ですか

いけばなは日本の伝統文化の中でも一番世界に浸透しています。いけばなを身に付け、世界に出かけることでより多くの方々とのコミュニケーションをとり、花を愛する心で少しでも世界平和に貢献してほしいです。



片山 健 先生

- (財)草月会理事
- (公財)日本いけばな芸術協会特別参与
- いけばなインターナショナル福岡支部名誉顧問
- 草月流師範会理事
- 西日本華道連盟理事長
- 福岡県文化団体連合会理事
- 福岡文化連盟理事
- 草月流一星会会長

片山先生が特別参与を担われる公益財団法人日本いけばな芸術協会発行のテキストを御紹介していただきました。詳しくは、協会ホームページ(下記二次元コードから)を御覧ください。



ホームページ



Facebook



Instagram



### Q 各教科等で伝統・文化に関わる内容を取り扱う場合の留意点は？

A 各教科等の指導は、学習指導要領に示された固有の目標の達成及び指導内容の定着を目指して行われます。このことは、伝統や文化に関わる内容を扱う場合も変わりません。例えば国語科で伝統や文化を取り扱う場合、指導のねらいは学習指導要領にある国語の力を身に付けることにあります。したがって各教科等に示された目標や内容を踏まえた上で、日本の伝統文化継承教育の視点を明らかにし、ねらいとする能力や態度を育てていくことが大切です。また、道徳科の学習との関連を図り、各教科等で学習した内容を道徳科の時間で補ったり、深めたり、相互の関連を考えて発展させたり統合させたりすると効果的です。

### Q 外部講師の活用は？

A 各市町村教育委員会や社会教育施設、茶道や華道などの伝統文化に関する協会(連盟)等に問い合わせることが有効です。また、保護者や保護者の知人、校区内の地域などには、専門的知識や技能をもった人たちがいる場合があります。学校としてそれらの情報をコミュニティ・スクール(学校運営協議会)等で収集し、活用するための仕組みを構築していくことも必要です。さらに、小・中連携して講師等を共有して活用することも有効です。

### Q 新しい文化の創造とは？

A 海外で和食をはじめ、日本の漫画、アニメーション、ファッション等が高い評価を得ています。また、オリンピックやワールドカップ等の国際スポーツ大会における日本人選手や観客の立ち居振る舞い等に、SNSを通じて称賛の声が寄せられることもしばしばあります。このように私たちにとって身近な生活文化そのものが世界に誇れる文化であり、未来に受け継いでいきたい我が国の現代文化と言えます。これら一つ一つを大切にし、さらに磨き上げていく姿勢こそが、新しい文化の創造につながっていくのではないのでしょうか。





